



みんなの結プラザ



NPO法人トカラインターフェイス・トカラ結プラザは、特産品販売イベントをはじめ毎月さまざまな取り組みを行っております。平成24年4月～10月までの主な活動を旬の食材と一緒にご紹介します。



毎月1～2回 特産品フェア



7月 九州のムラ市ブース出店



9月 県畜産共進会即売会



10月 バナナ大量入荷

4月の旬

びわ・つわぶき・大名たけのこ

- ・日本一早い大名たけのこ出荷式（9日）
- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（26日）

5月の旬

大名たけのこ・青パパイヤ

- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（11、24日）

6月の旬

トビウオ甘塩・大名筍水煮

- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（8、22日）
- ・中之島 果樹研究会（19日）
- ・宝島 6次産業化現地研究会開催（23日）

7月の旬

パッションフルーツ・ドラゴンフルーツ

- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（7日）
- ・福岡 九州のムラ市常設展示販売開始（1日）
- ・口之島 トカラ産物の流通販売座談会開催（21日）

8月の旬

落花生・はんだま

- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（7日）
- ・鹿児島ふるさと物産館イベント出店（11～15日）

9月の旬

島バナナ

- ・中之島 「トカラ中之島 探検の旅」開催（24～26日）
- 「十島村特産品コンクール in 宝島」開催（8日）
- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（28日）、
- ・県畜産共進会（29日）出店

10月の旬

田芋・島バナナ

- ・平島 トカラ産物の流通販売座談会開催（6日）
- ・新特産品コンクール「観光連盟会長賞」受賞（12日）
- ・中央駅広場 かごしま特産品フェア出店（17日）
- ・マリンピア喜入（21、28日）出店
- ・トカラ列島島めぐりマラソン特産品販売（28日）
- ・トカラ列島連邦共和国宣言 in 宝島（30日）

ごあいさつ

2012年も残すところ40日有余、トカラ結プラザを拠点にした、トカラ特産品の宣伝販売、各種イベント出店でトカラ特産の売り込みと併せたトカラの観光PR、そしてIターン者の定住支援等NPOがトカラ地域貢献活動を展開した充実の年であったと思っております。

これを来年への新たな展開に繋げるためには、住民・会員、村行政等の支援協力が不可欠と考えておりますので一段の支援協力宜しくお願ひ申し上げます。

代表理事 日高 重成・役員一同、スタッフ職員 垣口 裕之 有馬 弘恵

ホームページ「トカラかわら版」

<http://www.tokara-yui.com/>

E-mail tokara@feel.ocn.ne.jp

「トカラ結かわら版」発行：NPO法人 トカラ・インターフェイス お問い合わせ先：TEL&FAX. 099-223-0420

トカラを結ぶ、トカラと結ぶ

トカラ



島興しの仕組みづくりと人材育成のための情報誌

かわら版 No.11

NPO法人トカラ・インターフェイス
発行日 平成24年11月20日

～遊び心で楽しい島おこし～

十島村に夢・希望ートカラ列島連邦共和国宣言

ートカラが持続し発展する“七つの宣言”～トカラの未来にむけてー



◆いま、なぜトカラ列島連邦共和国宣言か。

東シナ海上の国境域に七つの島が南北160kmに連なるトカラ列島。重要な位置にあることを多くの国民に知らしめ、国境域の離島として新たな視点でアピールしていく必要があります。そのため本土復帰60年にあたり、各島住民有志とIターン者が10月30日(土)にトカラ列島最南端の島・宝島に集まり、最高峰の展望台で「トカラ列島連邦共和国」宣言を行い、国境域の離島として、トカラ列島持続的発展の七つの宣言と新たな島興しを全国にむけてアピールしていくようにした。そして、宝島ビーチハウスでは大統領に山木廣美氏(諏訪之瀬島)を選び各島補佐官を任命した後、七つの宣言・具体的実行にむけての意見交換を行い、島間の連帯と自立発展の道を探り、トカラの変革・未来を開くきっかけにするようにしました。

◆トカラ列島の持続的発展・七つの宣言～具体的実行にむけて

③ 有機的で安全・安心な食品の生産と販売～トカラ共和国商品で売り出す



① 島の持続的発展を担う、人材の呼込み作戦で、トカラ未来維持人口目指す



② 島で生産・自給可能な食料の自給率を100%に近づける。



⑤ 自然エネルギー等の活用でエネルギー自給率向上



④ 島まるごと自然博物館で豊かな自然と伝統文化の保全継承の実践

⑦ 結の精神によるコミュニティの再生と新たな形の島興しの展開



⑥ 循環型環境保全の取り組みでエコの島、トカラを目指す。

トピックス 1

頑張る！ターン者！

～都市の若者がトカラの再生島興しに取り組む一定住自立に向けて着実に
宝島 一荒廃遊休砂丘地を共同開拓～島ラッキョウで遊休砂丘地が宝の砂丘地へ

耕作放棄の荒廃砂丘地を1Uターン者3名が共同作業で昨年10アール開拓し、島らっきょうの栽培から加工商品づくり、販売流通まで実証的に取り組んだ。その一年目の成果で自信をつけ今年は約50アールを開拓し、9月に30アールの島らっきょうを作付けした。販売先も確保されており、宝島砂丘らっきょうをブランドにと意欲的に取り組んでいる。



共同栽培に取り組む中村、竹内、坂井氏

一山林原野・荒廃地の開拓～トラノオのハウス農場



不耕作地になって30年以上も経った山林原野を村の支援を受けて、自分達共同で開拓開墾し、3アールのハウス4棟を建て宝島トラノオの継承再生で経営の自立発展を目指している。

宝島トラノオ継承再生のハウス農場（竹内・坂井氏）

一トカラ型6次産業化を目指す！ターン者の取組み
トカラの産物の自然有機的生産の特徴を生かし、手作りで商品化、多様な販売ネットを使い、生産・加工商品化・販売流通までをパッケージにした取組みで着実に自立経営へむけて頑張っている。



伝統の塩づくり 高木氏・島バナナジャムを開発 本名氏

中之島 一耕作放棄地の再生、共同の力～トカラ近代的農業に挑む



中之島高尾地区の開拓地の耕作放棄地を村の事業で開拓し、大型機械を使った馬鈴薯栽培やハウス施設と平張り施設でのタンカン、キンカン、生姜等、4人が組合をつくり共同の力でトカラ近代農業にチャレンジしている。

トカラ近代農業へのチャレンジ

口之島 一農業に夢を～二人三脚で取り組む共同農場づくり

口之島に昨年12月に移住した長谷川氏と竹島氏、自治会の支援を受け、約30アールのほ場で、島らっきょうの栽培をはじめた。また、高齢農家から田芋水田の借り受けと耕作放棄水田の開拓で田芋の里づくりや、水稻の自給米栽培・中之島の1ターン者塩麹生産者と連携した原料米生産計画など、定住自立へむけ着実な取組みをしている。



二人三脚で取り組む長谷川・竹島氏

平島 一北海道から平島へ3本立て農業で自立の道を～子供5人の夢を



牛飼いを子供達と共に

北海道釧路から子供5人をつれて今年4月に移住した、福徳譲さん夫婦。島の風土と暮らしにもようやく馴れ、島の信頼関係を第一にと、牛と島ラッキョウ、熱帯果樹（パッションフルーツ）の3本立て経営で生活の自立を目指している。

トピックス 2

「十島村特産品コンクールin宝島」開催! 新商品続々……

平成24年9月8日、宝島コミュニティセンターにて「十島村特産品コンクールin宝島」が開催されました。各島々から生産者が参加し、集められた商品数は15点!! どれも島の個性・独自性を活かした商品で、ご来賓の先生方3名とも大変熱心に審査・指導して下さいました。



諫訪之瀬島 鎌田さん
諫訪之瀬島の選りすぐりの大名竹の葉を手摘み、丁寧に手裁断、心をこめて焙煎した笹茶。

【評】 笹茶漬けにすると美味しそう。香料としても良い。



中之島 寄田さん
トカラ列島で獲れたトビウオを中之島の天然水、小宝の温泉塩、鹿児島県産の米で作った塩麹に漬けました。

【評】 島の良さを活かした珍味としてとても良い。



中之島加工グループ
トカラ列島で獲れたキハダマグロを醤油に使い、中之島の島味噌と島の生姜を合わせたおかず味噌。

【評】 美味い。種類を増やしセット売りにしてみては。



宝島 竹内さん
宝島の島らっきょうを独自のタレで漬け込み、素材の味を最大限に引き出した4種類の島らっきょう漬け。

【評】 デザイン良し。5cm位葉を付けて漬けてみては。



宝島 高木さん
宝島海水を薪で時間かけて炊き上げた塩とトカラ固有種「しょうこうみかん」をブレンド。

【評】 香りがよく、塩も良い。土産用にセット販売すれば



宝島 坂井さん
完全無農薬・無化成肥料で作られた宝島の三尺島バナナを使用した無添加ドライバナナ。

【評】 食べやすいように切れ目を入れた方がよい。



宝島にて選ばれた本名一竹氏の「宝島バナナコンフィチュール」が10月12日に行われた本選・かごしまの新特産品コンクールにて県観光連盟会長賞を受賞いたしました。おめでとうございます!